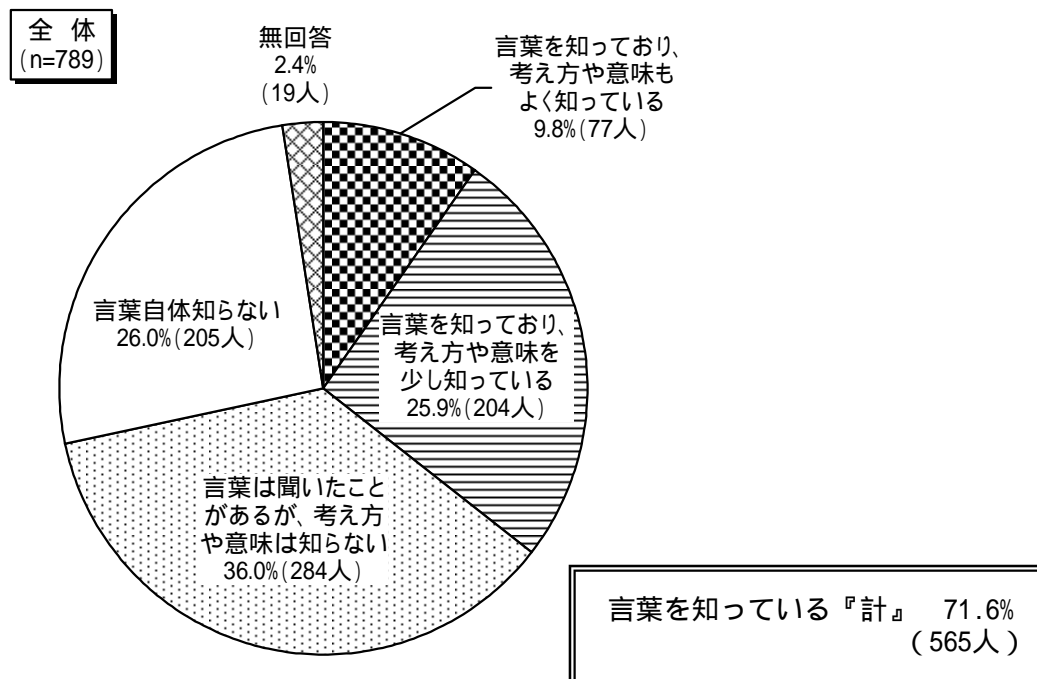


5 ユニバーサルデザインについて

(1) ユニバーサルデザインの認知状況

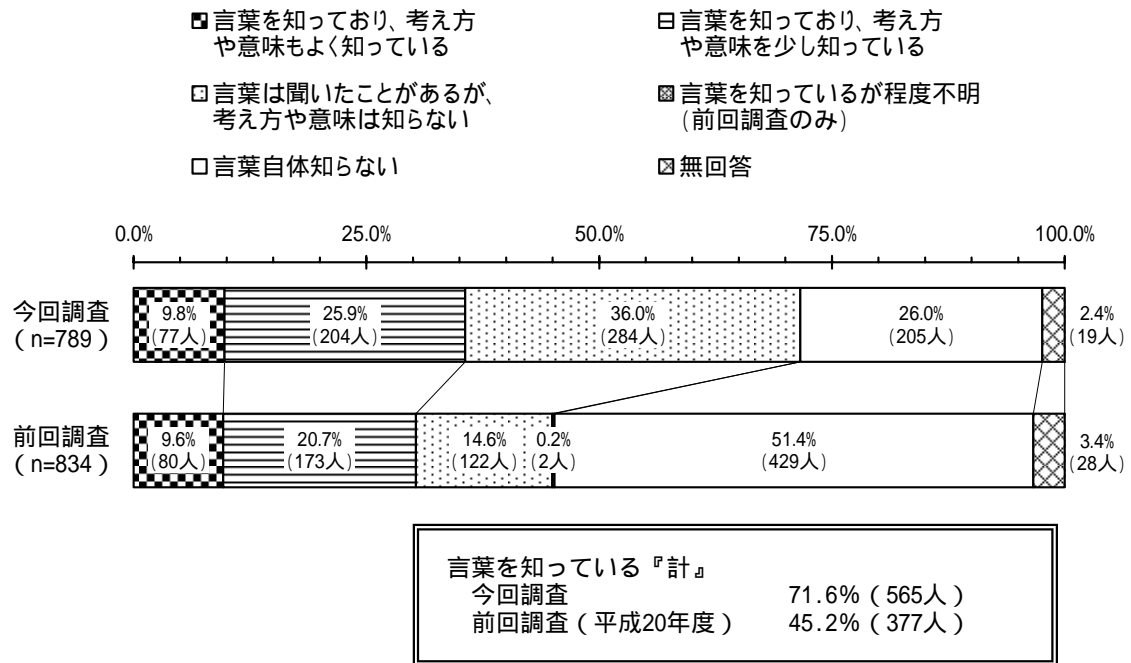
問18 あなたは、ユニバーサルデザインという言葉について知っていますか。
あてはまるもの1つに をつけてください。



ユニバーサルデザインという「言葉を覚えており、考え方や意味もよく知っている」は9.8%、「言葉を覚えており、考え方や意味を少し知っている」は25.9%、「言葉は聞いたことがあるが、考え方や意味は知らない」は36.0%となっており、これらを合わせた『言葉を知っている』計の割合は71.6%で、7割を超えている。

一方、「言葉自体知らない」の割合は26.0%となっている。

【参考 前回平成20年度調査との比較】

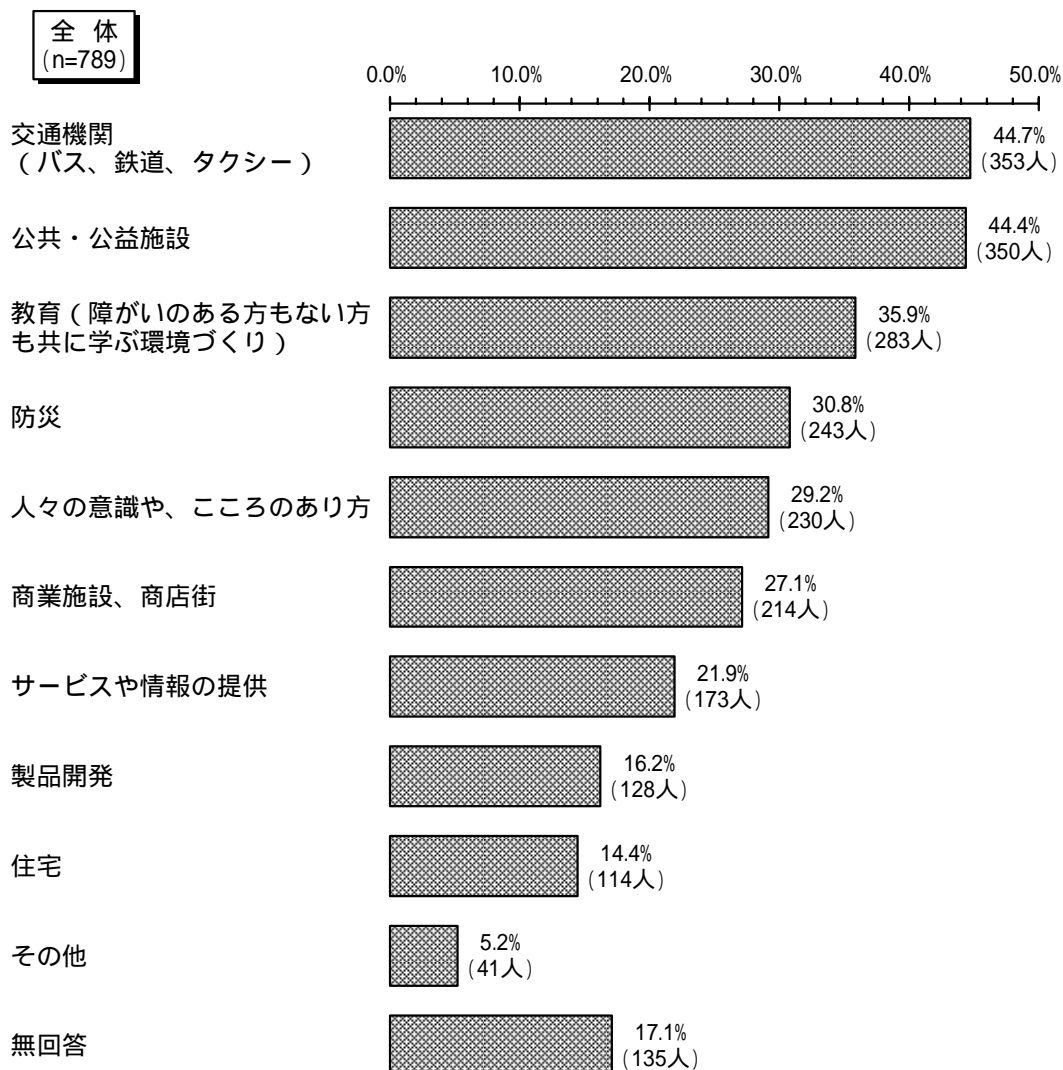


前回調査は今回調査と設問形式が異なるので、今回調査の設問形式にあわせて再計算した数値

『言葉を知っている』計(今回調査71.6%、前回調査45.2%)の割合は、今回調査の方が高くなっている。

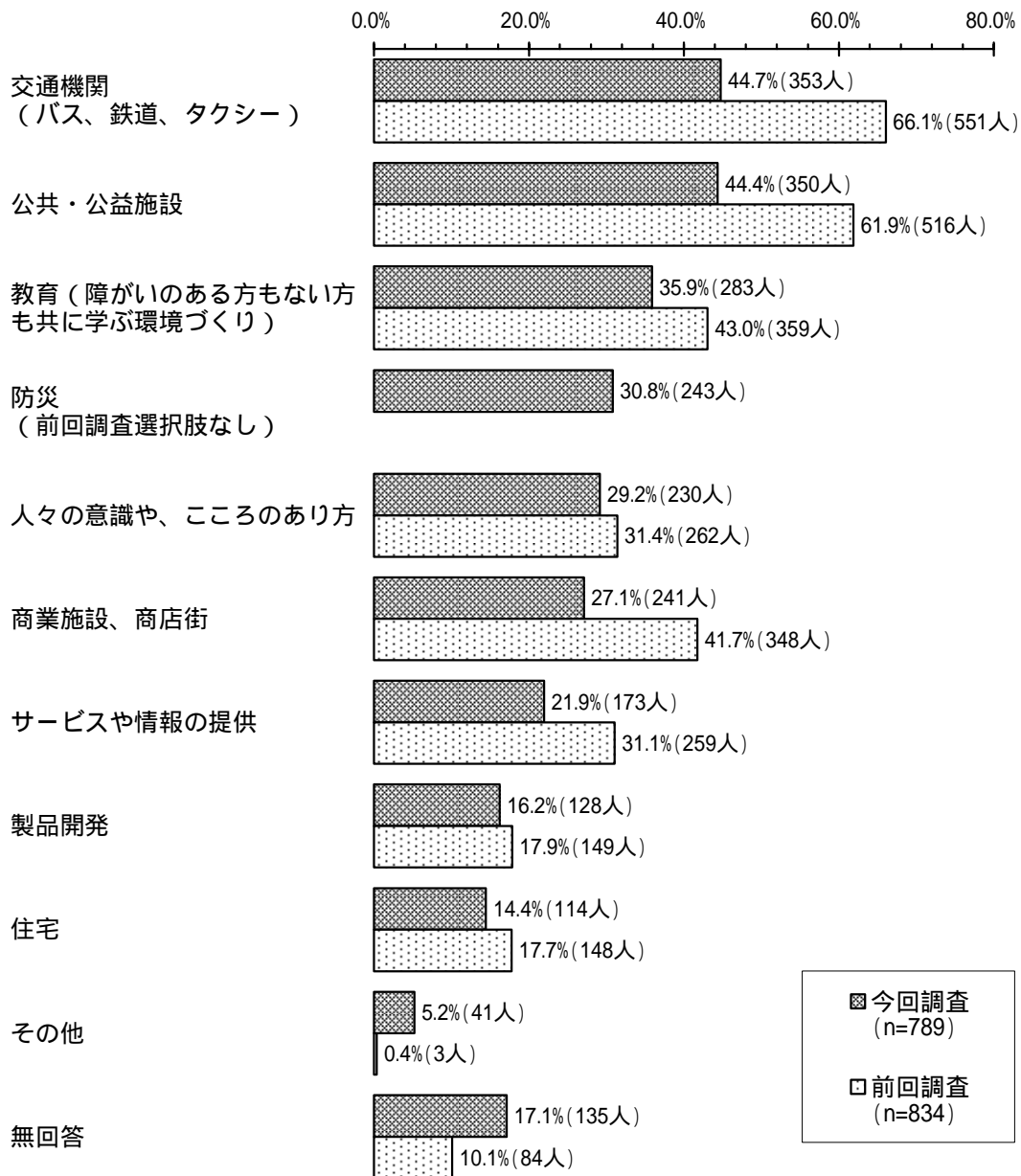
(2) ユニバーサルデザインの導入が必要なもの

問19 あなたが、県内で、ユニバーサルデザインの考え方を導入することが必要だと考えるのはどれですか。
 あてはまるものにいくつでも をつけてください。



ユニバーサルデザインの導入が必要なものは、「交通機関 (バス、鉄道、タクシー)」(44.7%) が最も多く、ほとんど差がなく「公共・公益施設」(44.4%) が続いている。以下、「教育 (障がいのある方もない方も共に学ぶ環境づくり)」(35.9%) と「防災」(30.8%) が3割台、「人々の意識や、こころのあり方」(29.2%)、「商業施設、商店街」(27.1%)、「サービスや情報の提供」(21.9%) が2割台、「製品開発」(16.2%) と「住宅」(14.4%) が1割台となっている。

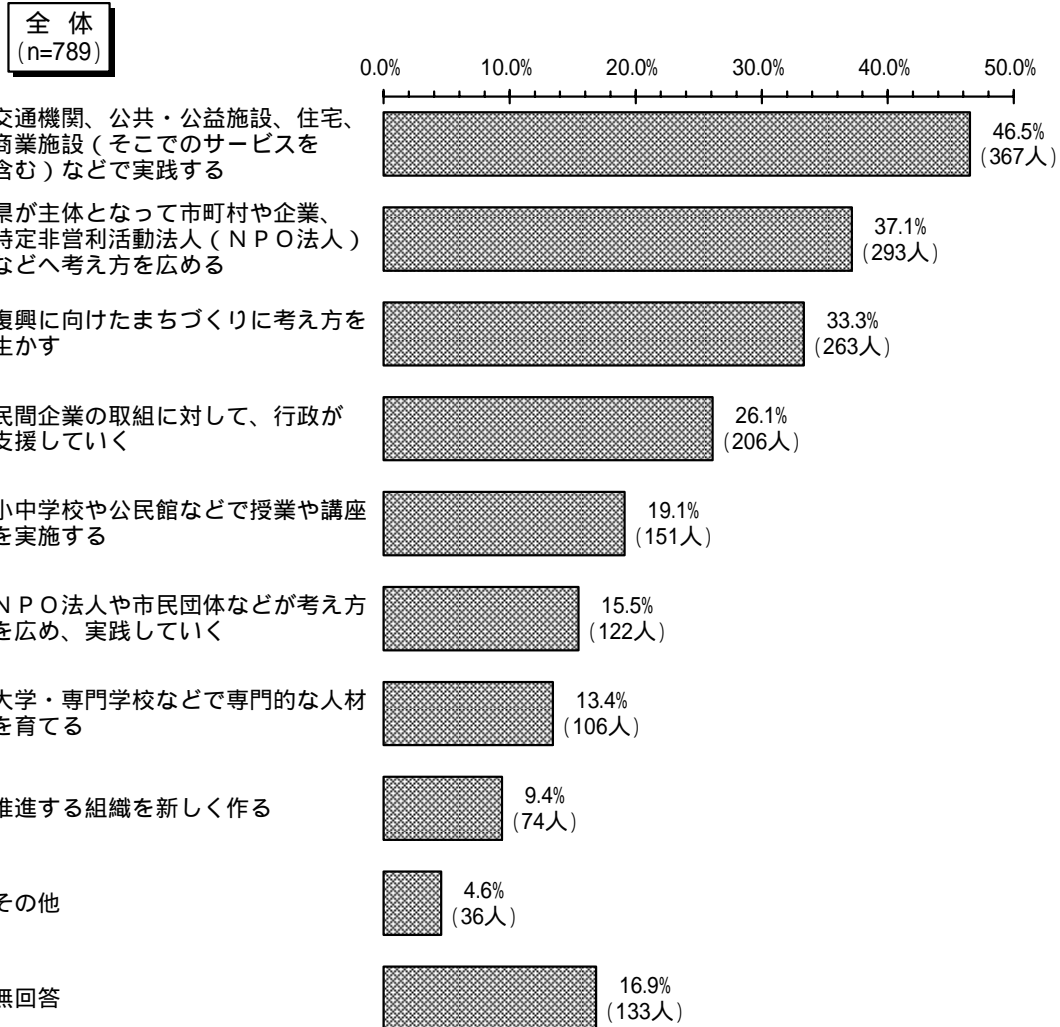
【参考 前回平成20年度調査との比較】



今回調査、前回調査ともに上位3項目は同じであるが、ほとんどの項目で前回調査よりも割合が低下している。

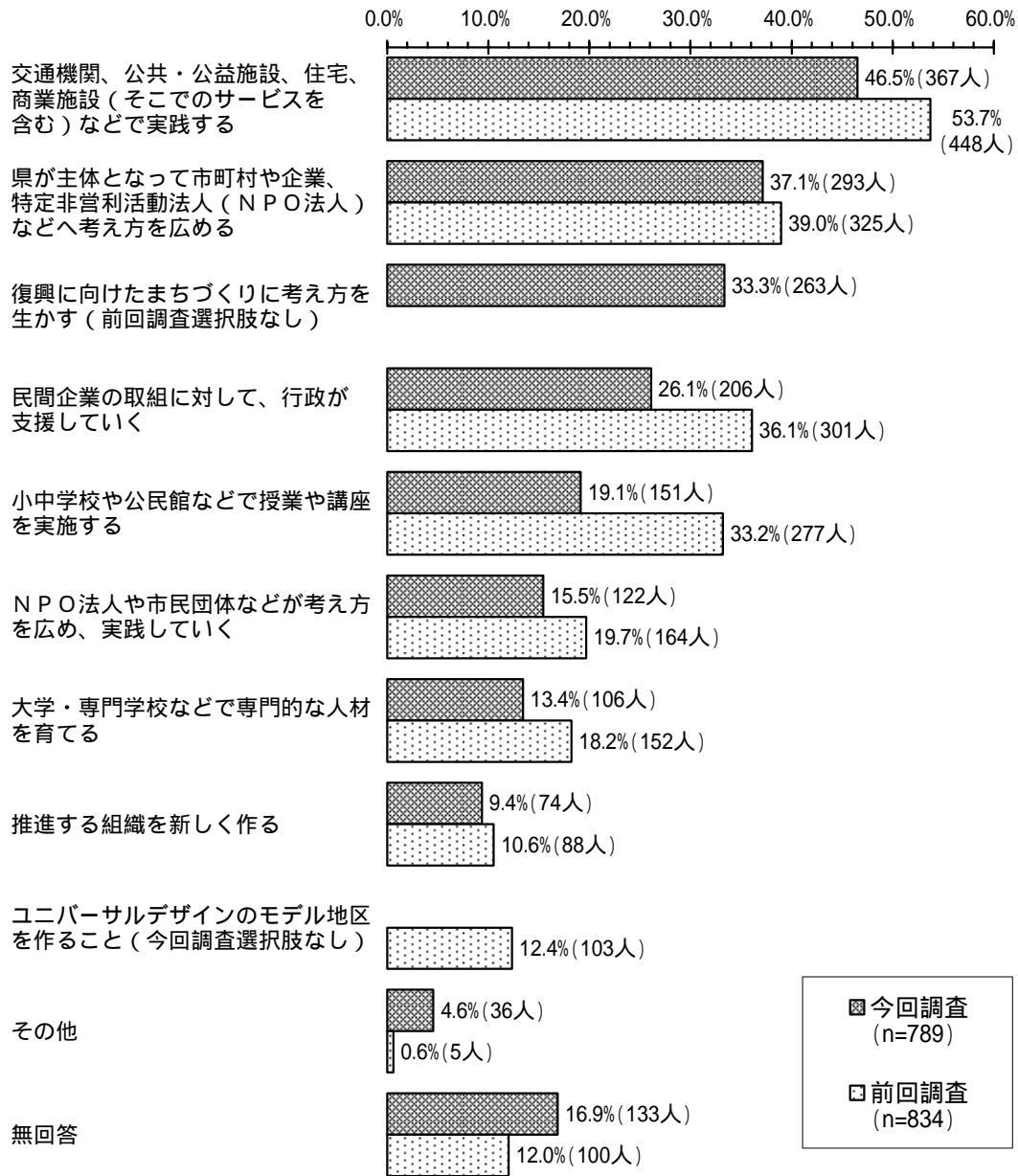
(3) ユニバーサルデザイン推進のために重要なこと

問20 あなたは、県内でユニバーサルデザインを推進するために、どのようなことが重要だと思いますか。
最も重要だと考えるもの3つまで をつけてください。



ユニバーサルデザインを推進するために重要なことは、「交通機関、公共・公益施設、住宅、商業施設（そこでのサービスを含む）などで実践する」（46.5%）が最も多く、5割弱となっている。以下、「県が主体となって市町村や企業、特定非営利活動法人（NPO法人）などへ考え方を広める」（37.1%）と「復興に向けたまちづくりに考え方を生かす」（33.3%）が3割台、「民間企業の取組に対して、行政が支援していく」（26.1%）が2割台、「小中学校や公民館などで授業や講座を実施する」（19.1%）、「NPO法人や市民団体などが考え方を広め、実践していく」（15.5%）、「大学・専門学校などで専門的な人材を育てる」（13.4%）が1割台となっている。

【参考 前回平成20年度調査との比較】

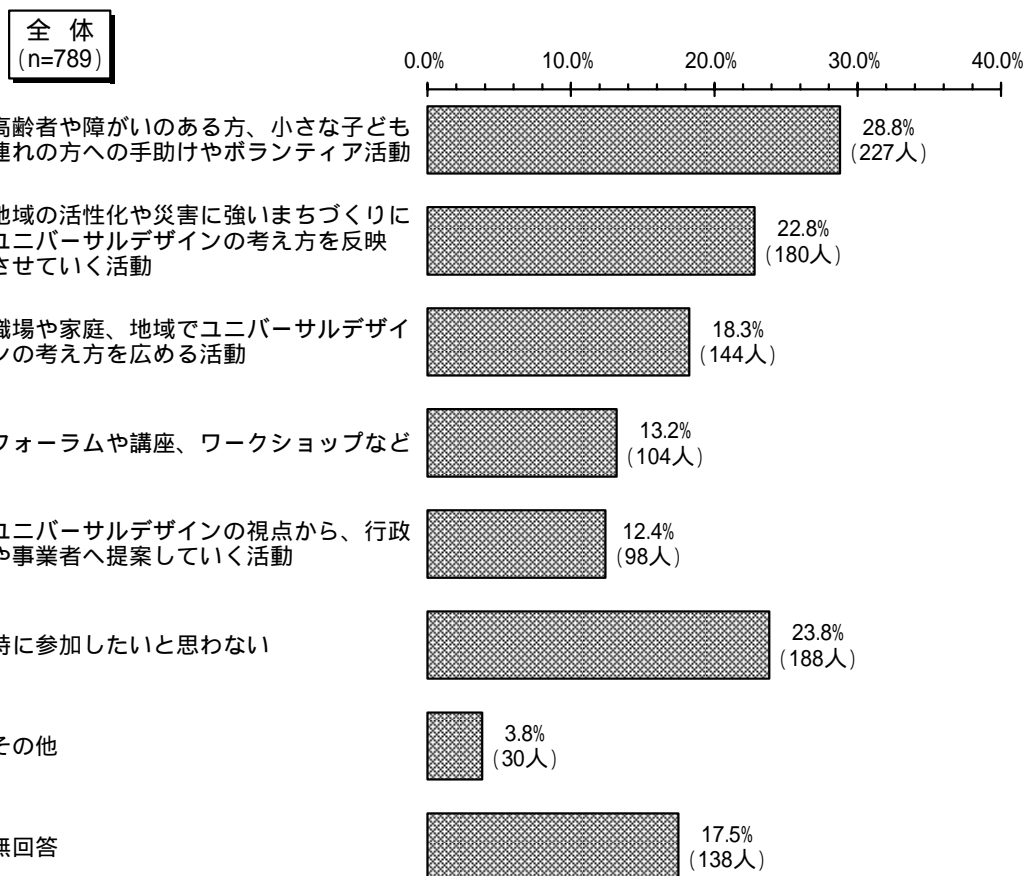


選択肢の文言は今回調査にあわせた。

今回調査、前回調査ともに上位2項目は同じであるが、ほとんどの項目で前回調査よりも割合が低下している。

(4) 参加したいユニバーサルデザインに関する活動

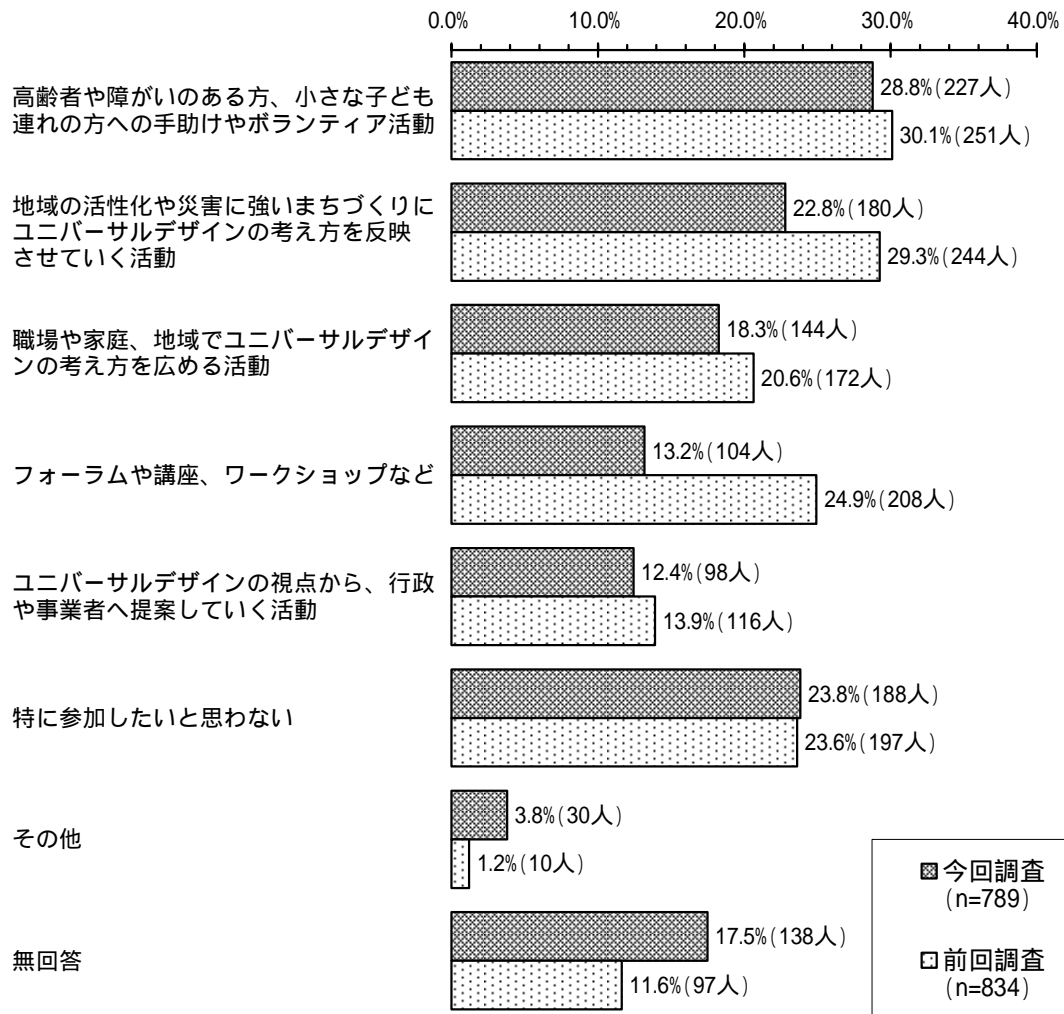
問21 あなたは、ユニバーサルデザインに関する活動で、参加したいものがありますか。
 あてはまるものにいくつでも をつけてください。



参加したい活動は、「高齢者や障がいのある方、小さな子ども連れの方への手助けやボランティア活動」(28.8%)が最も多く、3割弱となっている。以下、「地域の活性化や災害に強いまちづくりにユニバーサルデザインの考え方を反映させていく活動」(22.8%)が2割台、「職場や家庭、地域でユニバーサルデザインの考え方を広める活動」(18.3%)、「フォーラムや講座、ワークショップなど」(13.2%)、「ユニバーサルデザインの視点から、行政や事業者へ提案していく活動」(12.4%)が1割台となっている。

また、「特に参加したいと思わない」の割合が23.8%で、2割強となっている。

【参考 前回平成20年度調査との比較】



選択肢の文言は今回調査にあわせた。

今回調査、前回調査ともに上位2項目は同じであるが、ほとんどの項目で前回調査よりも割合が低下している。